

縮小社会研究会 in 岡山

「縮小社会と生命倫理」



資源と環境を次世代に残すために、縮小の必然性を論じてきました。同様に、人間以外の生物も残さねばならないです。次世代、他世界にも視点を広げて考える本源は倫理です。今回、生命倫理に焦点をあてます。また、翌日 4/23 に恒例の香川での筍掘りを開催します。

時：2016 年 4 月 23 日、午後 1 時～午後 5 時

所：岡山大学 文・法・経済学部講義棟 11 番 講義室

参加費：無料

参加登録：下記の自動登録よりお願いします(縮小社会研究会の HP よりたどり着けます)

http://confreg.ate-mahoroba.jp/confreg?conf_idstr=h5po9YlaEeWRF02wrWKrw2t30

講演 1. 13 : 00-13 : 45 「縮小社会の必然性」 松久寛 (縮小社会研究会代表理事)

世界は経済成長を善としている。しかし、資源と環境の制約の下で、それは真であろうか。指数関数的成長の持続は弱肉強食から破滅に至る。可採化石燃料は 100 年分といわれているが、たとえ年率 2%の成長でも、それは 54 年で枯渇する。しかし、毎年 1%ずつ縮小すると残存量は永遠に 100 年分になり、それ以上に縮小すると残存年数は増加する。子孫が生き延びるためには、縮小しかない。縮小を志向することによって、社会のシステムから価値観までが変貌し、それによって質的に豊かな社会を創出することができる。縮小社会の姿と変遷の過程について説明する。

講演 2. 13 : 55-14 : 40 「縮小社会と生命倫理学」 小川正嗣 (放送大学大学院)

縮小社会研究と生命倫理学には、実は様々な共通点があります。どちらも本質的に、人間や生命一般の在り方を問うからです。いくつかの共通点を示し、縮小社会研究と生命倫理学の橋渡しの一助といたく思います。

講演 3. 14 : 50-16 : 20 「優生学的人間改造」 栗屋剛 (岡山商科大学教授)

縮小社会の提案を尻目に、人類は優生学的人間改造の時代に突入しつつある。この優生学的人間改造は現時点でのあらゆるテクノロジーの集約点である。総決算と言ってもよい。もちろん、この優生学的人間改造は文明のダイナミズムに整合的に位置づけられる。縮小社会論の視点からこの「優生学的人間改造」現象がどう評価されるのか、とても興味がある。専門家からいろいろとご教示いただければ大変ありがたい。

総合討論 16 : 30-17 : 00

一般社団法人 縮小社会研究会

〒606-8227 京都市左京区田中里ノ前町 21 石川ビル 305

e-mail: jimukyoku@shukusho.org HP: <http://shukusho.org/>

筍掘り in 香川

時：2016年4月24日9:00-

所：香川県三豊市山本町神田

4/23：講演会終了後、岡山大学より、車で移動し、「とら丸旅館」にて宿泊。

夕食は旅館の近くで取ります。

とら丸旅館：〒766-0001 香川県仲多度郡琴平町1017、TEL：0877-75-2161

伊予からの旧金毘羅街道が石段と交差したところにある旅館です。岡山からは、特急で「JR土讃線琴平駅」で下車。高松からは高松琴平電鉄「ことでん琴平駅」で下車。徒歩15分、石段を登って100段目。車では、旅館のすぐそばまで行けます。

★金毘羅さんに一番近い宿泊場所です。ここから少し登れば、大門です。

★温泉(琴平温泉郷)にも入れます。

★大部屋に泊まります。個室ではありません。 **5000円/人+税金 一泊朝食付き**

個室がよい人は、その旨を青野さん (hi645z@bma.biglobe.ne.jp) に連絡してください。この旅館か、一昨年に泊まった「琴平パークホテル」に予約いたします。

4/24：8:30 旅館発、午前中、青野さんの竹林にて筍掘り。

お土産にダンボール箱に詰めた筍を郵送することもできます。

昼食後、解散

参加登録：講演会と同じ自動登録で



とら丸旅館

一昨年の筍掘り